

滝川市



実施主体：
滝川市

令和8年2月26日

石狩川下流域減災対策協議会
石狩川（下流）水系外流域治水協議会

雨竜川外地域部会（第10回）
雨竜川外地域部会（第7回）

滝川市の取組について

＜資料＞

ワンコイン浸水センサについて



設置目的と現況



実施主体：
滝川市

【目的・現況】

- 令和6年度：国土交通省北海道開発局が実施する「ワンコイン浸水センサ実証実験公募」へ応募し実施。
- 市内13箇所に設置
※設置箇所は過去に浸水歴がある箇所
- 近年、大雨などによる浸水被害が頻発する中、地域における浸水状況の速やかな把握と災害対応が求められている。
- 上記の課題へ取り組んでいくためには、小型で低コストな浸水センサを設置し、浸水状況をリアルタイムで把握することが有効だと判断。

実際のシステム画面



実施主体：
滝川市

◆ 設置状況①



滝川市普通河川（南手島）



滝川市市道（西一線）



実施主体：
滝川市

設置状況②



アンダーパス（みずほ隧道）



雨水枥（有明町）



実施主体：
滝川市

◆ 設置効果と課題



【効果】

- 仮設ポンプや土のうの準備・設置の迅速化
→ 初動スピードの向上による被害抑制
- 現地確認に係る職員負担の軽減
→ 職員の安全確保と業務効率化
- 時間や場所を問わずに即座に情報取得
→ 夜間・休日でもスマホやPCで状況確認が可能
- 限られた人数での災害対応、事前防災で大きく貢献
→ センサの常時監視により面的な監視体制を維持

【課題】

- 情報取得のために、サーバーアクセスが必要なこと
→ プッシュ通知型が望ましい
- 積雪寒冷地のため、冬期の前後に取り外しが必要なこと
→ 冬期も手入れが不要になると、利便性が向上する

砂川市

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害タイムライン研修及び防災教室の実施	

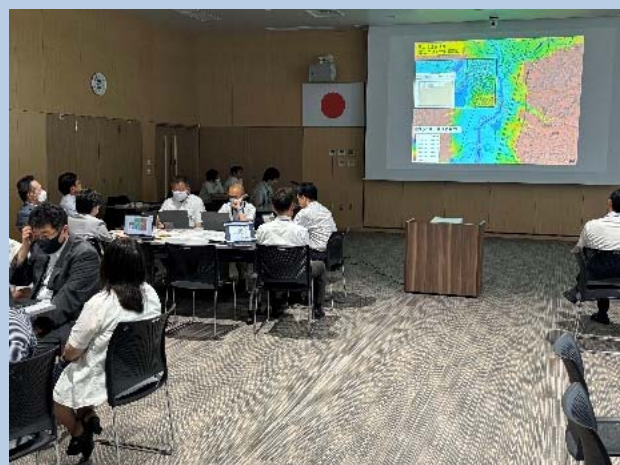
実施主体：砂川市

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、職員を対象とした水害タイムライン研修及び小学生への防災教室を実施した。

●水害タイムライン研修(R7.7.4)

内容：札幌開発建設部協力のもと、職員を対象に、タイムラインにおける防災行動の確認・整理を行った。



●小学校防災教室

(R7.9.1) 北光小学校4年生

(R7.9.3) 空知太小学校1・2年生

(R7.9.5) 空知太小学校5年生

小学生の防災への理解を深めるため実施。

内容：防災かるた、防災カードゲーム等



●広報車伝達訓練 (R7.7.30)

内容 住民への迅速かつ正確な情報伝達能力を向上させることを目的に、音声広報の運用手順・機材操作・伝達ルートの確認を行った。

●コンテナ型トイレ及びシャワー設置・操作訓練 (R7.10.31)

内容 コンテナ型トイレ及びシャワーの設置・操作方法等訓練を行った。

次年度に向けた予定 など

今後も、1日防災学校、防災教育イベント、ネイパル砂川主催の防災キャンプなど様々な防災関係行事に積極的に協力し、児童生徒に対する防災意識の向上を図る。また、職員に対する防災訓練も開催し、職員の防災意識の向上を図る。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	様々な手段による広報の実施、出前講座の実施	

実施主体：砂川市

令和7年度 取組内容

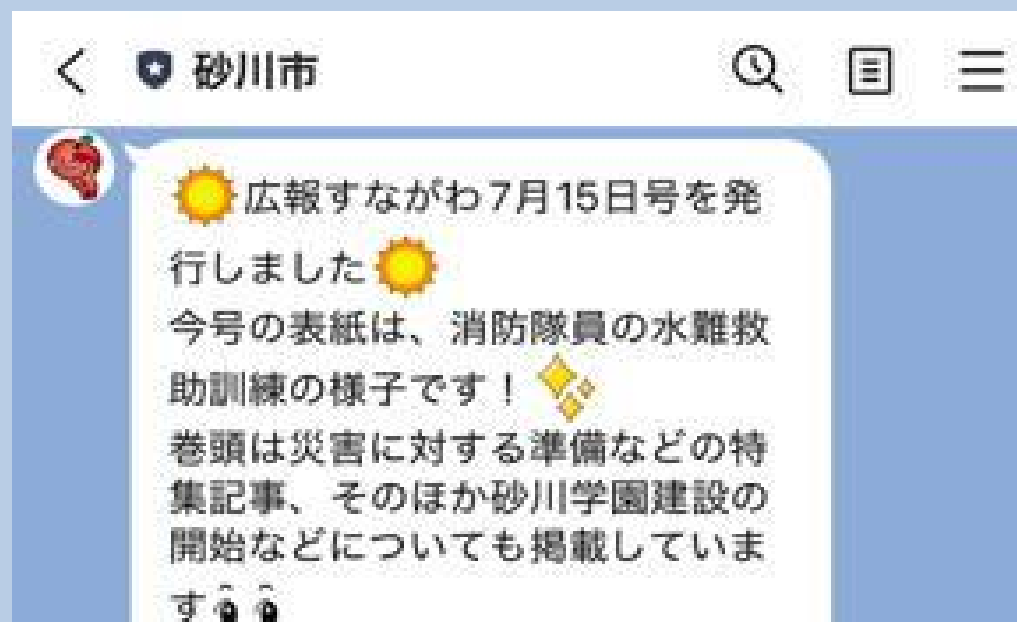
- R7年度においては、様々な手段による広報の実施及び出前講座を実施した。

●様々な手段による広報の実施

広報すながわ
地デジ広報
SNS公式アカウントなど

●出前講座の実施

内容：ハザードマップの説明、避難所運営ゲーム(HUG)の実施、段ボールベッドの設営訓練、非常食体験等



次年度に向けた予定 など

「自らの命は自ら守る」意識の醸成のため、様々な手段による広報や各種訓練や出前講座を通じて避難行動の理解促進を図る。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	ハザードマップの改定、配布等	

実施主体：砂川市

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、転入者へのハザードマップの配布等を行った。

- 令和5年3月 ハザードマップの改定
(浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の更新に対応)
- 転入者へのハザードマップの配布
- ホームページやSNSを活用したハザードマップの周知
- 出前講座や防災訓練などハザードマップの活用方法の周知

次年度に向けた予定 など
法律の改正や避難所や土砂災害警戒区域等の増減などに合わせ適切なタイミングでハザードマップの改定や周知を実施する必要がある。

歌志内市

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	災害を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	住民の防災意識の向上を図る	

実施主体：歌志内市

■令和7年度 取組内容

- 希望する市内団体・町内会で防災ハザードマップ(令和7年度作成・配布)を用いた防災説明会の開催。また、市内での災害発生を想定した防災クイズを実施。

実施内容



実施内容



次年度に向けた予定 など

- 引き続き、希望する市内団体・町内会に説明会等を実施することにより、住民の防災意識の向上を図る。

深川市

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	各防災関係機関協力のもと、深川市防災総合訓練を実施。	

実施主体：深川市

■令和7年度 取組内容

・ R7年度においては、各防災関係機関協力のもと、8年ぶりに深川市防災総合訓練を実施した。内容は地震がメインとなっているが、その中で、自主防災組織等における避難訓練等を実施。また、防災関係機関による、水害等のパネル展示等を行い。自主防災組織や住民等への意識向上を図った。

写真



写真



次年度に向けた予定

様々な形で防災情報を周知するため、引き続き、防災教室及び防災訓練を実施する予定

意見交換テーマ「各自治体における「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

**課題～「減災対策担当部署」と「流域治水担当部署」が異なるため、業務連携がとりづらい。
※現状部署が異なるため非常にやりづらさがある。**

解決案～「流域治水」においても、ソフト面の対策を幅広く含むことで、ソフト面での連携がとりやすくなる。国等においても、そのような取組を推進してほしい。

奈井江町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：奈井江町

令和7年度 取組内容

- 地域包括支援センターの役割である要援護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者並びにその家族等の福祉の向上を図り、効果的な予防サービス及び地域ケアの総合調整を行う奈井江町地域ケア会議において、医療施設関係者、介護事業所職員等に対し、奈井江町防災ガイドマップ（ハザードマップ）について情報交換を行った。

奈井江町防災ガイドマップ（ハザードマップ）情報交換



奈井江町防災ガイドマップ（ハザードマップ）



次年度に向けた予定 など

- 今後も、地区などの防災訓練や防災セミナー、会議等々での説明し、いつ、どこで災害が発生しても落ち着て行動できるよう、防災意識の向上を図っていきたい。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：奈井江町

令和7年度 取組内容

- ・民間企業の協力のもと、将来を担う子どもたちを対象に災害から身を守るための知識や安全な行動を身につけてもらうことを目的に、楽しく学びながらもしもの時の災害に対する意識の向上を図った。

取組内容



次年度に向けた予定 など

- ・民間企業との連携により、様々な年代層の防災意識の向上に繋がっていきたい。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：奈井江町

■令和7年度 取組内容

・防災道の駅に指定されている、道の駅「ハウスヤルビ奈井江」で開催された「ないえ冬まつり」会場において、国土交通省北海道開発局札幌開発建設部や北海道札幌方面滝川警察署、民間事業所の協力いただき、地域における住民の防災意識の向上を目的に、イベント内で防災に関する展示等々を実施

国土交通省北海道開発局札幌開発建設部

奈井江町



北海道札幌方面滝川警察署

損害保険ジャパン株式会社



次年度に向けた予定 など

・防災道の駅に指定された、道の駅「ハウスヤルビ奈井江」を拠点とし、地域の枠を超えた広域的な支援活動の防災拠点として防災意識の向上を図る。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：奈井江町

■取組内容

・より安心して利用できる庁舎として、地震や水害発生時において、災害対策拠点として機能できるよう高い耐震性や、電力、給水など、72時間以上の災害拠点機能が維持できる新庁舎が令和6年度より供用開始。また、令和7年3月末に、新庁舎に隣接した防災倉庫兼車庫棟が完成し、アルファ米や飲料水、簡易トイレなどの備蓄を行った。

奈井江町役場



防災倉庫車庫棟



次年度に向けた予定 など

・町内において大規模な水害等が発生した場合、高台にある「体育館」が避難所となることが想定の中、物資を運搬する道路の通行に支障が生じる可能性を踏まえ、体育館用地に防災備蓄庫を設置し、防災資機材等を分散して保管、避難者をスムーズに受け入れる環境の整備。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：奈井江町

■令和7年度 取組内容

- ・ 町民に対して迅速かつ確実に防災情報を伝達する仕組み「防災行政無線整備」を行い、市街地の屋外スピーカーの設置や公共施設等の放送設備を活用した情報伝達の仕組みを構築する他、既存の登録制メールや固定電話、FAX、LINEでの情報配信の仕組みに加え、新たに防災アプリを導入し、令和8年3月末より共用開始する。

屋外スピーカー設置箇所

奈井江町役場



奈井江町体育館



公営住宅



次年度に向けた予定 など

- ・速やかに確実な防災情報の伝達を行うため、「防災アプリ」をより多くの町民等の利用促進に向け、各種イベントや会議等での普及啓発を図る。

浦臼町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)	実施主体：浦臼町
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
対策内容	護床整備工事の実施		

■令和7年度 取組内容

大雨などによる出水により、護床ブロックに損傷が見つかったため、早急に整備を実施した。

実施前



実施後



令和8年度以降 河川の護岸改修工事を予定

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	護床整備工事の実施	

実施主体：浦臼町

■令和7年度 取組内容

- 農業施設(田んぼダム81.6ha)により、雨水を貯留し、内水氾濫被害を軽減。

実施内容



浦臼町 田んぼダム 流域貯留施設(平常時)

令和8年度も同面積にて継続して取組予定

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	減災対策	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災体制の強化	

実施主体：浦臼町

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施していた職員防災教育、一日防災学校、町内会長会議において自主防災組織の活動啓発及び防災対策の理解を図った。また、町民対象の避難訓練、避難所の設営・運営要領の修得を目的とした地区防災訓練を行い、町の防災体制の強化に努めた。

実施内容



実施内容



次年度に向けた予定として、本年度同様に職員対象の防災教育、一日防災学校の開催、町内会への防災業務の理解促進、町民対象の防災訓練に取り組んでいく。

新十津川町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
新十津川町

令和7年度 取組内容

- ・町管理河川の浚渫事業の実施
- ・地元農家等で構成される河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

河川浚渫事業



河川愛護組合による河川の草刈り



次年度に向けた予定

- ・河川堆積土砂管理計画に基づく町管理河川の浚渫事業の実施
- ・河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	突然の豪雨に際し、小規模排水路への過大な水の流出を防ぐために田んぼダムを行う環境を整備。	

実施主体：
新十津川町

■令和7年度 取組内容

- 令和7年度では町内で行われている農地整備事業により区画拡大されたほ場の落口に水位調整ゲート付き落口柵を設置し、田んぼダムを行う環境が出来上がっている。

設置状況



実施内容(深水状態)



農地整備事業は毎年町内で実施されており、ほ場の区画拡大も行われている。区画拡大が行われているほ場の落口柵も水位調整が可能な柵を施工し、田んぼダムを行うことが可能なほ場は年々増加しており、豪雨時の過大な排水への流出防止を行う環境が整えられている。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練の実施 ・水害対応マイ・タイムライン研修会の実施 	

実施主体：
新十津川町

令和7年度 取組内容

8月24日 新十津川町総合防災訓練、364人参加
滝川河川事務所協力による降雨体験装置車両の稼働



10月26日 マイ・タイム研修会、77人参加
大雨被害の軽減を図るための避難行動計画を作成するための研修会



次年度に向けた予定

マイ・タイムライン(各自の避難行動計画)は、災害時の人的被害軽減に大きく影響するものと考え、町内各地区に組織されている、自主防災会(町内すべての地区に組織化されている)が主催する研修会で、説明と普及を図っていきます。

妹背牛町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)	実施主体:妹背牛町
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
対策内容	普通河川の河道掘削・減災に向けた雑木伐採		

河川においては、継続実施している河道掘削の実施が必要である。また、町民を対象とした避難情報伝達訓練をはじめ、指定避難所への避難訓練、避難所設営の計画的実施に向けたソフト面の支援が課題。いずれも財政的支援が課題である。

災害対応



樹木伐採・河道掘削、排水ポンプ改修

実施内容



避難訓練(避難、避難所設営)

今後の予定等
堆積土砂の掘削、雑木の伐採に対する財政支援及び専門的見知から、効果的な訓練実施に向けた人的(ソフト面)の支援が必要。

秩父別町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河川災害から流域を守る対策	

実施主体：秩父別町

■取組内容

1. 前年度に引き続き農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム)の推進を図った
2. 町内2箇所を設置されている排水機場の点検を実施
3. 排水ポンプ車等による職員による訓練を第一幹線用水路にて実施
4. 河川浚渫と伐木処理を実施

■課題・今後の予定

1. 次年度以降も、農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム)を継続的に実施出来るよう、流域治水の推進を図っていく。
2. 排水機場において機械本体の老朽化が進んでいるため年点検及び月点検を実施し、適宜必要な修繕を行っていく必要がある。
3. 排水ポンプ車等の稼働訓練を職員にて行うことで、災害に備える必要がある。
4. 町管理河川において、河床に土砂堆積して断面を疎外しており、河川氾濫に繋がる恐れがあることから計画的に河川浚渫や伐木処理を実施していく必要がある。

実施内容



農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム)

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）	実施主体：秩父別町
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	
対策内容	町民等を対象とした、防災意識の啓発活動		

■令和7年度 取組内容

- ・町民等を対象とした防災訓練や小中学生を対象とした1日防災学校を開催し、避難所の設営やAEDの使い方講座、心臓マッサージ体験、備蓄食糧試食体験など災害時の行動等を学んだ

実施内容



9/11 1日防災学校 心臓マッサージ体験

実施内容



11/29 秩父別町防災訓練 避難所設営訓練

■今後の予定

次年度以降も、自主防災組織を主体とした地域住民参加による防災訓練や防災学校を継続的に実施し、流域治水の推進を図っていく。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
対策内容	防災・減災活動に資する基盤等の整備	

実施主体：秩父別町

■取組内容

- 令和2年度に防災行政無線のデジタル化を実施。各世帯に戸別受信機を無償貸与し、災害時における情報伝達が円滑に行えるよう整備を行った。また、停電時に備え非常用発電機を整備している他、地域マイクログリッドの構築(令和7年1月完成)により大規模停電の際などに指定避難所に電力供給が可能となっている。

実施内容



無償貸与している戸別受信機

実施内容



地域マイクログリッド設備(NAS®電池、太陽光パネル)

次年度以降も、防災・減災に資する基盤の整備や必要に応じた防災備蓄品の整備を行い、災害につよいまちづくりを推進していく。

雨竜町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	崩壊及び洗堀をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	農地を守る護岸対策	

実施主体：雨竜町

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、鴨居沢川の崩壊しかけていた法面の被害拡大を防止するため護岸工事を実施した。

実施前



実施後



令和8年度以降については幹線排水路の浚渫工事を実施予定。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

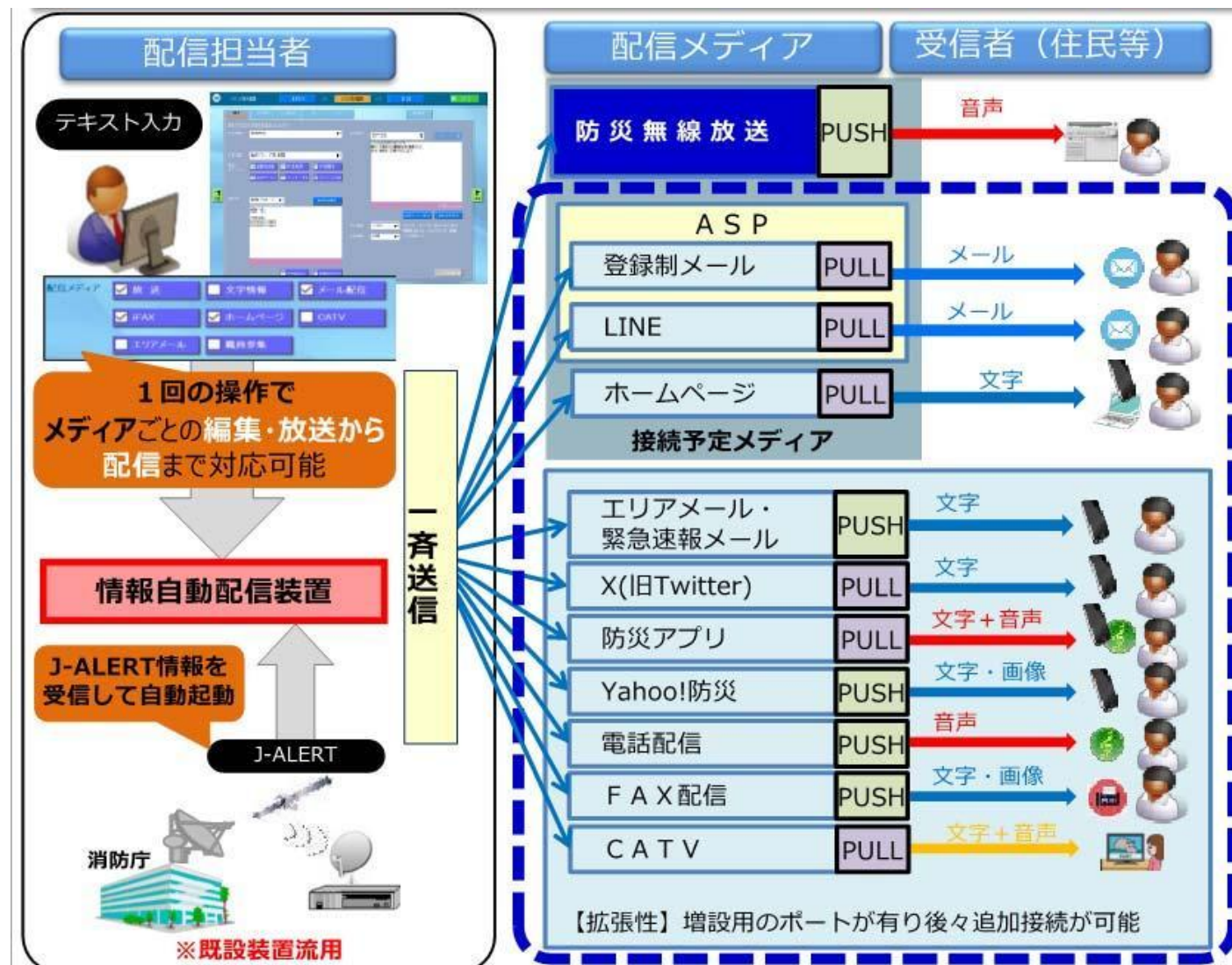
	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災行政無線整備事業について（令和6～7年度）	

実施主体：雨竜町

■令和7年度 取組内容

- ・R6～7年度において、防災行政無線の親局設備、再送信局設備、戸別受信機設備の更新を行った。
- また、情報伝達手段の強化で1回の操作で戸別受信機及び多メディアへの同時配信（LINE等）ができるシステムを導入。

実施内容



○個別受信機

公共施設、各家庭等1,120台設置



今後について

- ・平時の定時放送、配信
- ・定期的なメンテナンス

北竜町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の河道掘削及び伐木事業	

実施主体：北竜町

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、普通河川御料川の河道掘削及び伐木事業を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



・御料川浚渫工事

実施後



・御料川浚渫工事

- 普通河川の河道掘削及び伐木事業(R8年度～R11年度 8河川予定)

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の護岸整備事業	

実施主体：北竜町

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、普通河川(尻無川・上田川)の護岸整備事業を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



・尻無川護岸整備工事

実施後



・尻無川護岸整備工事

- 普通河川の護岸整備事業(R8年度～R12年度 8河川予定)

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)	実施主体：北竜町
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
対策内容	普通河川の護岸整備事業		

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、普通河川(尻無川・上田川)の護岸整備事業を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



・上田川護岸整備工事

施工中



・上田川護岸整備工事

- ・ 普通河川の護岸整備事業(R8年度～R12年度 8河川予定)

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	排水機場機能回復事業	

実施主体：北竜町

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、碧水排水機場の更新する主要機械を製作し「流域治水」の推進を図った。

機場外部



・碧水排水機場

機械室内部



・碧水排水機場

- ・ 排水機場機能回復事業(R5年度～R10年度 碧水排水機場)

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	財源確保と整備計画	

実施主体：北竜町

■流域治水対策の課題と今後の取り組み

- ・最も大きな課題は、財源の確保。国や道からの補助金や助成金を最大限に活用し、事業の優先順位を明確にして進める。
- ・緊急自然災害防止対策事業、緊急浚渫推進事業等を活用して災害リスクの高い箇所から整備を進める。
- ・水害被害の軽減を目指し、今後も国や道への治水対策の要望を続けていく。

沼田町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：沼田町

■令和7年度 取組内容

- 東部地区及び西部地区活動組織で農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続して取り組むとともに、町管理河川等の施設では、側溝の断面確保のための浚渫等を行い、計画的な河川等の管理により、「流域治水」の推進を図った。

課 題

○流域治水の自分事化意識の醸成

令和5年度自分事化検討会国土交通省資料「流域治水の自分事化に向けた論点整理」においても課題と記されている「流域治水を個人、企業・団体に広げていくには、それが自分のこととして認知され、行動に向けて意識が深まる、「自分事化」されること」が必要とされ、様々な取り組みが推進されています。

これまでも、行政側からきっかけづくりを進めてはおりますが、地域では人口減少や高齢化により必要とされる自主防災組織などの組織設立へも人材の確保が厳しい状況です。

次年度に向けた予定 など

河川等の浚渫・河道掘削・伐木等の実施を継続、河川維持管理計画策定の検討を継続、農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続、各種防災訓練・研修等の実施を継続など、状況に応じた流域治水事業に取り組む。

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

石狩川(下流)水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ

実施主体：沼田町

	R4年度取組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	R5年度取組み内容	住民(地域の防災リーダー等)参加状況	R6 年度取組み内容	R7 年度取組み内容	次年度以降の取組み(予定)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	<ul style="list-style-type: none"> ■田中の沢川浚渫 ■農業施設(田んぼダム)による雨水貯留 		<ul style="list-style-type: none"> ■河川等整備の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・更新3号橋護岸ブロック補修工事 ・達布中央線排水路浚渫工事 ■農業施設(田んぼダム)による雨水貯留 <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金による活動として水位調整板による田んぼダムの取組みを活動組織により定め実施している。 		<ul style="list-style-type: none"> ■農業施設(田んぼダム)による雨水貯留 <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金による活動として水位調整板による田んぼダムの取組みを活動組織により定め実施している。 ■河川等整備の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・中島排水路改修工事 ・北竜排水路外浚渫工事 	<ul style="list-style-type: none"> ■農業施設(田んぼダム)による雨水貯留 <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金による活動として水位調整板による田んぼダムの取組みを活動組織により定め実施している。 ■河川等整備の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・町道北竜1号線側溝浚渫工事 	<ul style="list-style-type: none"> ■農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続 ■河川等の浚渫、法面補修、河道掘削・伐木等の実施を継続 ■河川維持管理計画策定の検討を継続
被害対象を減少させるための対策							
沼田町	<ul style="list-style-type: none"> ■防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・防災講話、避難所開設・受入訓練等の実施 80名参加(内地域住民34名) ■防災学校の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生対象 防災カルタ、段ボールベッド組立、Doはぐ避難所運営等の体験の実施 175名参加(内小中学生157名) ■防災資材の調達 <ul style="list-style-type: none"> ・防災用物品の調達 ・電源供給コンバーターの整備 ・組立式給水タンクの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ■防災学校の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象に、防災意識や知識を高めるため、グループ研修や防災カルタ等を実施した。 ■自主防災組織の設立に向けた啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・町内会総会等に出向き、自主防災組織の設立意義を説明し、防災意識の高揚を図った。 ■避難所運営マニュアルの配布 <ul style="list-style-type: none"> ・各行政区の代表者会議において、マニュアルを配布し、自主防災組織の必要性と避難所運営への理解を求めた。 ■防災資材の調達 <ul style="list-style-type: none"> ・防災用物品等を調達した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民保護共同訓練に参加され、有事の際の初動対処訓練となった。 ・各町内会総会等に参加され防災意識の高揚が図られた。 ・行政区長会議に参加され、避難所運営に向けた自主防災組織の設立等防災意識の高揚が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■防災学校の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象に、災害発生時に様々な危険を予測し、安全に行動を取るとともに、地域の人の安全を考えて行動できる沼田っ子を育てるため、グループ研修や防災クイズ等を実施した。 ■防災研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・日赤奉仕団員を対象に、沼田町地域防災計画について講演し、想定される災害とその備え等防災意識の高揚を図るとともに、自主防災組織の設立意義を説明し組織の設立を促した。 ■自主防災組織の設立に向けた啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・各行政区の代表者会議において、自主防災組織の設立意義を説明し設立を促すなど防災意識の高揚を図った。 ■防災資材の調達 <ul style="list-style-type: none"> ・防災用備蓄品等を調達した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■沼田町総合防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害への対応力強化と防災意識の向上に向けて実践的な訓練を実施しました。 ・防災訓練では、小中学生を対象に防災教室(NHK協力)を行い、災害時に命を守るための講習や、AR(拡張現実)技術を活用した浸水体験も実施し、リアルな映像を通じた水害の恐ろしさや避難の重要性を体感しました。 ・防災資器材の展示、深川警察署による損壊車両からの救出訓練、深川地区消防組合による高所からの救出訓練や救急搬送訓練により町全体の防災体制強化を図りました。 ■防災デイキャンプの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・沼田町社会福祉協議会と沼田町地域おこし協力隊による「防災デイキャンプ」を開催し、多くの町民の防災意識の高揚を図りました。 ・赤十字奉仕団による炊き出しやトイレトレーラー、消防車を展示するなど、様々な角度から防災について学ぶ機会が提供されました。 ■防災資材の調達 <ul style="list-style-type: none"> ・防災用備蓄品等を調達した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種防災訓練及び研修等を継続 ・防災学校、防災訓練、防災研修等の実施を継続し、防災意識の高揚に努める。(時期未定)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策							

幌加内町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

意見交換会テーマ:「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

実施主体：幌加内町

アニマルアラート運用について

■令和7年度 取組内容

令和5年5月、朱鞠内湖で起きたヒグマの襲撃による釣り人の死亡事故を受けて、安全体制強化の一つとして、ヒグマ出没情報を迅速に住民周知する事を目的にWebアプリであるアニマルアラートを導入している。

なお、町内全世帯にIP告知電話機を設置しており、この端末でもアニマルアラートを確認できる環境を構築しており、インターネット環境を持っていない方へも情報提供を行っています。

実施内容



実施内容



次年度も同様にサービス提供を予定とする。

上砂川町

「減災対策」または「流域治水」での取組や進めていく上での課題について

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）	実施主体：上砂川町
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	
対策内容	上砂川町防災訓練		

■令和7年度 取組内容

- ・ 町民の避難訓練及び関係機関を含めた防災訓練を実施し、防災意識の高揚を図った。

実施内容



実施内容



令和8年度においても防災訓練の実施を予定

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	上砂川町1日防災学校	

実施主体：上砂川町

■令和7年度 取組内容

- ・ 段ボールベットの作成要領を展示及び体験により、防災意識の高揚を図った。

実施内容



実施内容



令和8年度においても内容を変更して実施予定